

編集後記

母校創立70周年記念事業の一環として記念誌の刊行が企画され、その編集の重責がわれわれ“昭和一ケタ”に負わされた。

順序として、足しげく図書館や千曲会館に通って変色した同窓会報や同窓会が出版した学術雑誌を漁った。伝説めいてわれわれに語り継がれた事柄の多くが事実であることを確認した。同窓会の中間的存在である“昭和一ケタ”がこの際記念誌の編集において果たすべき役割を模索した。そして母校の歴史、同窓会の歴史が渾然一体であることを知りながら、敢て二つに分けて編集しようと試みた。

まず、母校70年の歴史について記録した後、“昭和一ケタ”以下の卒業生に知られていない母校や新設の学科の設立のいきさつについて当時その衝に当たってこられた先生方に執筆していただいた。また千曲会(時)報に適当な記事がある場合には、それを転載することによってできるだけ時間的空間をうめるように努めた。つづいて母校創立70周年の現状を綴り留めておくために、繊維学部6学科等の構成、陣容、および事務研究室職員の名簿を載せた。

同窓会の記事としては、70年間、エネルギーに活動してきた同窓会の動きについて、その主なものだけを取りあげた。25周年および50周年の記念式典における針塚長太郎校長、小泉清明学部長の式辞は、それ

ぞれの時代的背景、母校の発展の情況を知悉できるので全文を載せた。70周年の現状と比較すれば一そう興味ぶかいだろう。

最後に、戦前、同窓の教官が主体となって行ってきた学術面における活動については、当事者として活動されてきた2人の元母校教授に執筆していただいた。

この冊子によって、われわれは、“昭和一ケタ”の立場から母校の教官、同窓の先輩たちが、“母校の発展”のためにいかに努力してきたかについて綴り留めておきたかった。しかし、編集を終ってみて、いささか荷が重すぎたようにも感じられる。この冊子によって、若い後輩達が母校の歴史、同窓会の歴史を知るとともに、同窓会員としてのあり方について、示唆を得ることができるならば編集者の望外の喜びでもある。

おわりに、われわれの求めに応じて快く執筆していただいた教官、同窓の先輩諸氏、それに資料の逆輸入的利用を許された財界評論新社に、また貴重な写真を提供して下さった諸氏に深謝する。

編集理事 三石 賢・矢彦沢清允・林 貞男
編集委員 武井隆三・松本陽一・中沢 賢・
藤松 仁・黒瀬彰男
編集顧問 町田 博・小山長雄

信州大学繊維学部創立70周年記念誌

昭和55年11月23日発行

発行所 社団法人 千 曲 会
上田市常田3丁目8番37号
電 0268-22-4465

【非売品】

印刷・信教印刷株式会社

祝 信州大学繊維学部創立70周年記念千曲会館落成

協賛会社芳名（順不同）

片倉工業株式会社

グンゼ株式会社

昭栄株式会社

丸興工業株式会社

全国養蚕農業協同組合連合会

日本製糸協会

東洋紡績株式会社

日東紡績株式会社

日清紡績株式会社

大和紡績株式会社

ユニテカ株式会社

オーミケンシ株式会社

川島紡績株式会社

日本フェルト株式会社

東亜紡織株式会社

東レ株式会社

三菱レイヨン株式会社

株式会社クラレ

信越ポリマー株式会社

市川毛織株式会社

帝国産業株式会社

株式会社レナウン

大同マルタ染工株式会社

明成化学工業株式会社

浜口染工株式会社

日本バイリーン株式会社

理研化学工業株式会社

株式会社宮下組

花王石鹼株式会社

綾羽工業株式会社

吉田工業株式会社

日東精工株式会社

株式会社仲光製作所

株式会社都築製作所

株式会社栗林製作所

株式会社有沢製作所

日精樹脂工業株式会社

株式会社八十二銀行

株式会社太陽神戸銀行

国祭カントリー株式会社

農協中央会常勤理事会

上田市農業協同組合

松田産業株式会社

上小機械工業振興会

オルガン針株式会社

アート金属工業株式会社

東京特殊電線株式会社

株式会社長野計器

日信工業株式会社

株式会社宮野鉄工所

株式会社三葉製作所

山洋電気株式会社

上田日本無線株式会社

株式会社松山

小林安

東洋繊維株式会社

医療法人 友愛会 千曲 荘 病院